

- ③構成人員が10人以上で、市内在住・在勤・在学の者が6割以上
- ④主な活動の場・事務所が市内にある
- ⑤原則として代表者が芦屋市内に在住、在勤または在学している
- ⑥会則(あるいは規約)がある
- ⑦代表者および役員が、その団体の活動により対価を得ることがない
- ⑧活動のための自己財源を有し、適正に運営されている※上記以外にも要件があります。

■申し込み 6月15日～30日(平日執務時間内)に下記窓口へ必要書類(下記で配布・市ホームページでダウンロードできます)を持参

■問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

## あしや市民活動センター 登録団体の申請受付



■内容 地域の課題解決または発展を目的として市内で活動を行う市民活動団体を支援することを目的とします。

■申し込み 6月15日～30日に必要書類を下記へ郵送(必要書類は、市ホームページでダウンロードできます)

■問い合わせ リードあしや ☎26-6452  
(〒659-0065公光町5-8)

## 雨水貯留施設設置費用 の助成制度



■対象施設 貯水槽の有効容量が100ℓ以上で、散水目的の市販のもの(市の基準に適合)※1つの建物につき施設1基の申請が可能

■対象 市内の土地・住宅の所有者。所有者から施設設置の同意を得て、自ら使用する人。

※条件によっては助成対象外となることもあります

■助成金 購入費・工事費総額の2分の1  
※1基の上限30,000円

■申請方法 12月25日までに必要書類を下記窓口へ提出※施設を購入する前に申請する必要があります。(必要書類は市ホームページでダウンロードできます)

■問い合わせ 下水道課 ☎38-2067

## エコ・エネルギー システム設置費補助金



■対象 次のすべてにあてはまる人

◆市内在住の人

- ◆自ら居住する市内の住宅にエネファームを設置
- ◆市税を滞納していない
- ◆過去に本市から、この補助金を受けていない
- 対象システム 一般社団法人燃料電池普及促進協会の補助金の交付を受け、令和2年1月1日から令和3年3月31日までに設置工事を終了したもの

■補助金額 4万円

■申し込み 7月1日～令和3年3月31日に、所定の申請書(市ホームページからダウンロード可)を下記窓口へ持参

■問い合わせ 環境課 ☎38-2051

## 催し

### 夏の公民館講座



多文化化する日本

多文化共生社会の実現に向けて(全2回)

■日時 7月6日(月)・9月28日(月)午前10時～11時30分

■会場 市民センター 401室

■定員 60人

■講師 奥村キャサリン氏(神戸女学院大学文

学部英文学科准教授)

■料金 1,000円(2回一括)

日本経済はどこまで来たか(全3回)

■日時 8月3日(月)・8月6日(木)・8月8日(土)午前10時～11時30分

■会場 市民センター 401室

■内容 第1回「産業革命からカジノミクスまで～日本資本主義の軌跡をふりかえる」  
第2回「北欧型資本主義を鏡にすれば～国連幸福度ランキング62位の現実」  
第3回「経済のあり方を決める市民の力～ステークホルダー間のバランスをうまく」

■定員 60人

■講師 石川康宏氏  
(神戸女学院大学総合文化学科教授)

■料金 1,500円(3回一括)

■持ち物 筆記用具

■申し込み 6月15日(月)までに、はがきかファクスまたは下記窓口で、講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、下記へ(応募多数抽選・芦屋市民優先)

■問い合わせ 公民館 ☎35-0700/FAX31-4998 (〒659-0068 業平町8-24)

## 美術博物館の催し

### 開催期間延長 「藍のファッション展」



日本の藍の衣装と藍染めの魅力を紐解く展覧会。染色技法やデザイン性の要素から藍のファッションの伝統と現在を紹介。

■日時 9月6日(日)まで

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434(〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般800(640)円、大高生600(480)円、中学生以下無料 ※( )内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

※来館の際は、ホームページ掲載の「ご来館のお客様へのご確認」をご確認ください。



「紺木綿地市松模様三浦絞り浴衣」明治時代、個人蔵

## 谷崎潤一郎記念館の催し



### 夏特設展「大谷崎と文豪たち」 (通常展「谷崎潤一郎・人と作品」併設)

谷崎潤一郎の人と作品を、初版本や肉筆書簡・遺愛の品々など年代順に展示。特設展では、泉鏡花や武者小路実篤、芥川龍之介、佐藤春夫らと谷崎の交流を示す館蔵資料(原稿や書簡、書籍)をご覧下さい。

■日時 6月13日～9月6日

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244/ashiya-tanizakikan@shoppro.co.jp(〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料※( )内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額



谷崎の娘鮎子と佐藤春夫の甥竹田龍児の結婚式。媒酌人は泉鏡花。(昭和14年)